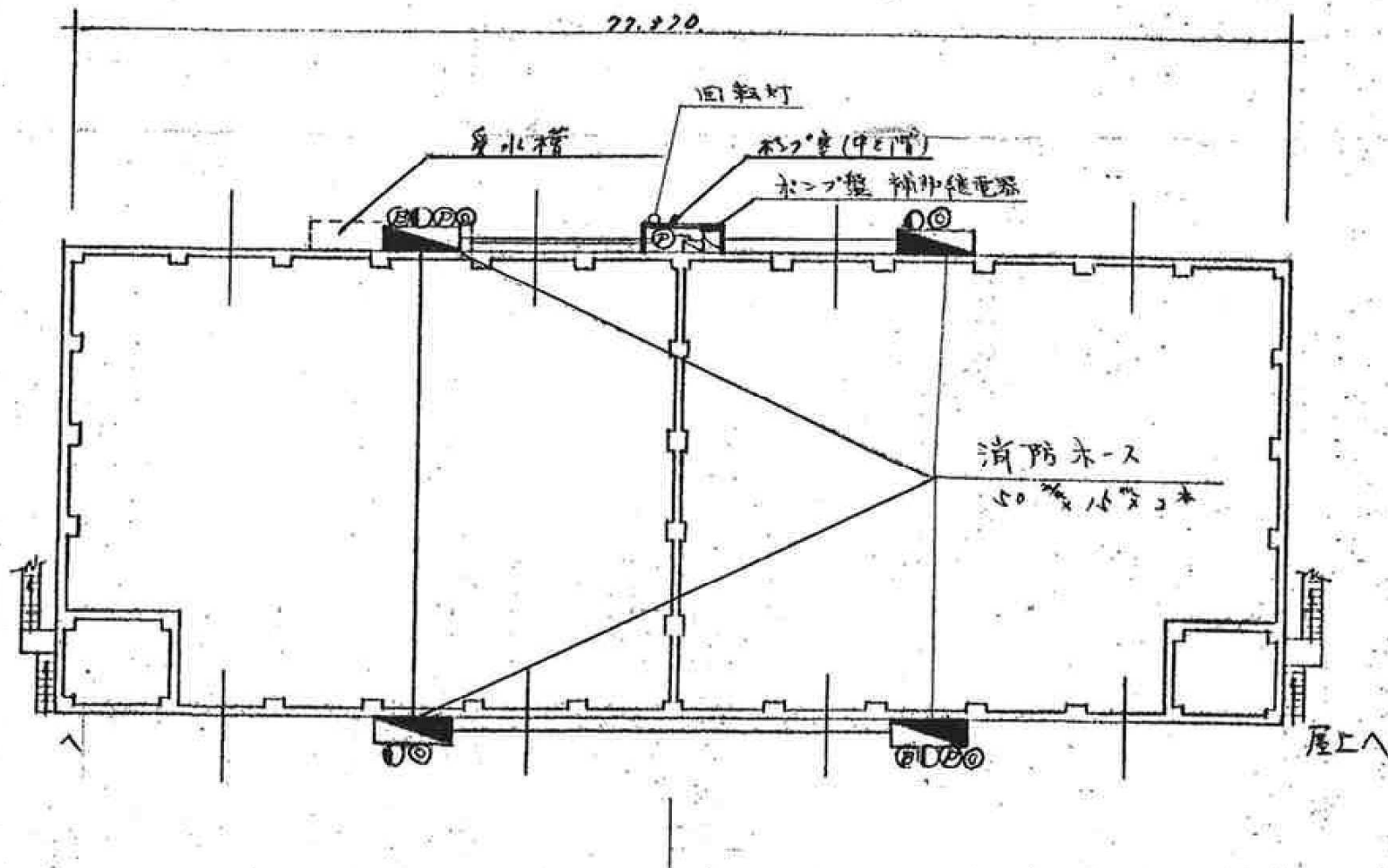




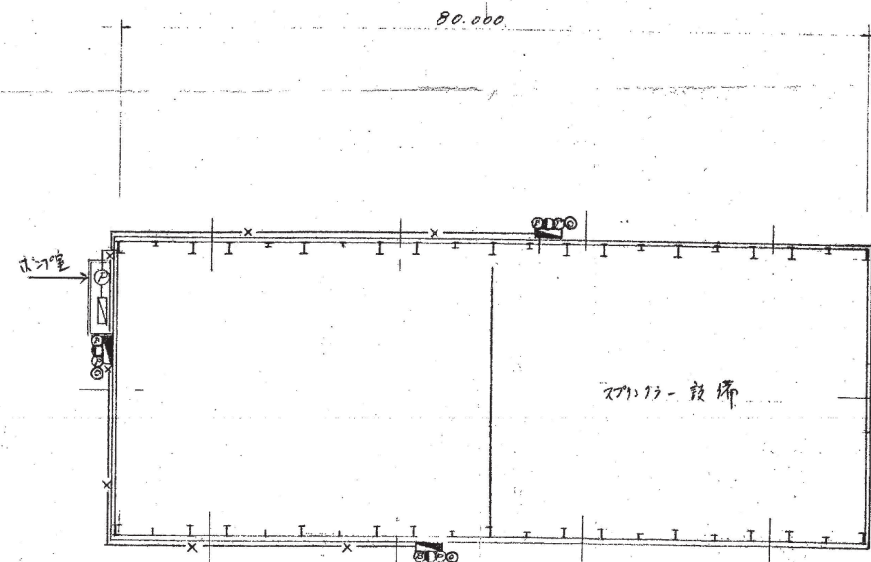
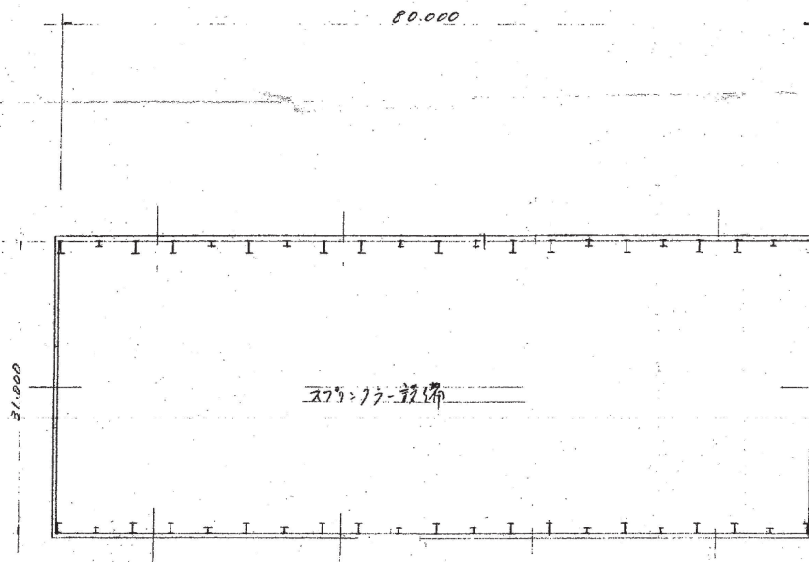
2B 屋内消火栓設備

屋内消火栓設備

SCALE	DRAWN	DATE	NO
1/200	2008.08	25/32	

屋内消火栓箱 (3ヶ所設置) (1100×700×80)

ホース 40^{mm}×18^m 2本
 ハンカ 40^{mm}×23^k 1個
 ノズル 40^{mm}×12^{mm} 1本
 消火栓ハンカ 40^{mm}×90^{mm} 1個



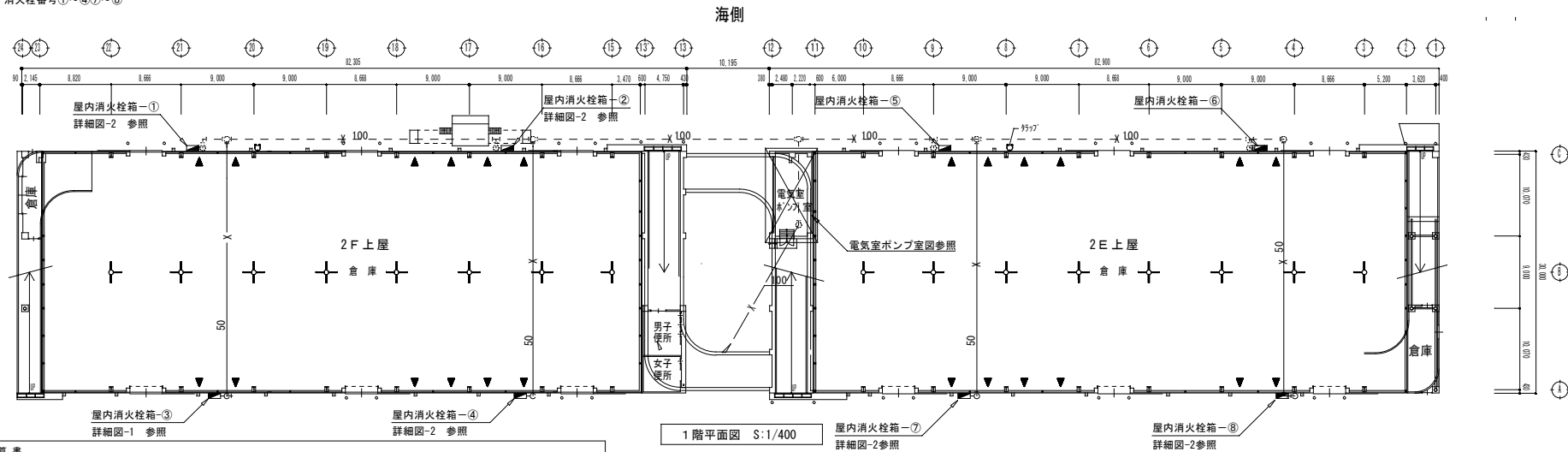
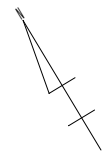
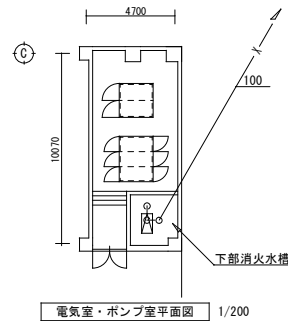
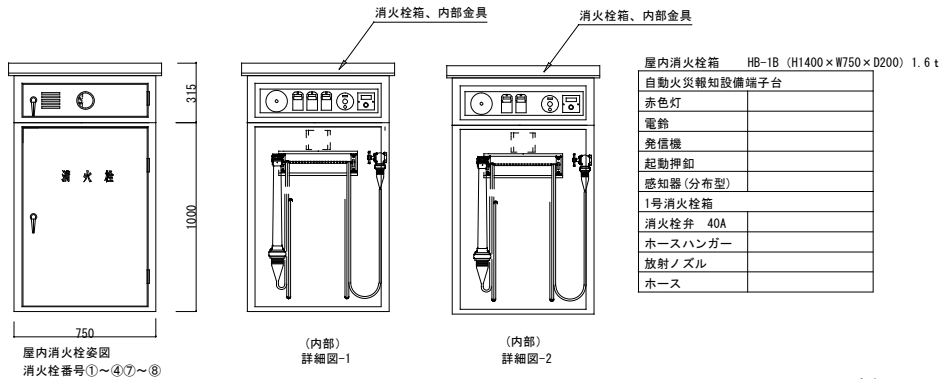
消火ポンプ : 川本 KTY2-656×3S-M7.5T
 65φ×300L×60m×7.5kw
 電動機 : 東芝 IKK-DBK21
 4P、7.5kw
 200V、28.2A、1730rpm
 呼水槽 : 100L
 受水槽 : 地下式 37m³ (スプリンクラーポンプと共用)

2C2D 屋内消火栓設備

23.47-1 2C棟 2D棟 工事設計図

屋内消火栓設備

SCALE	DRAWN	DATE	NO
1/400	20.11	20.11.29	26/32



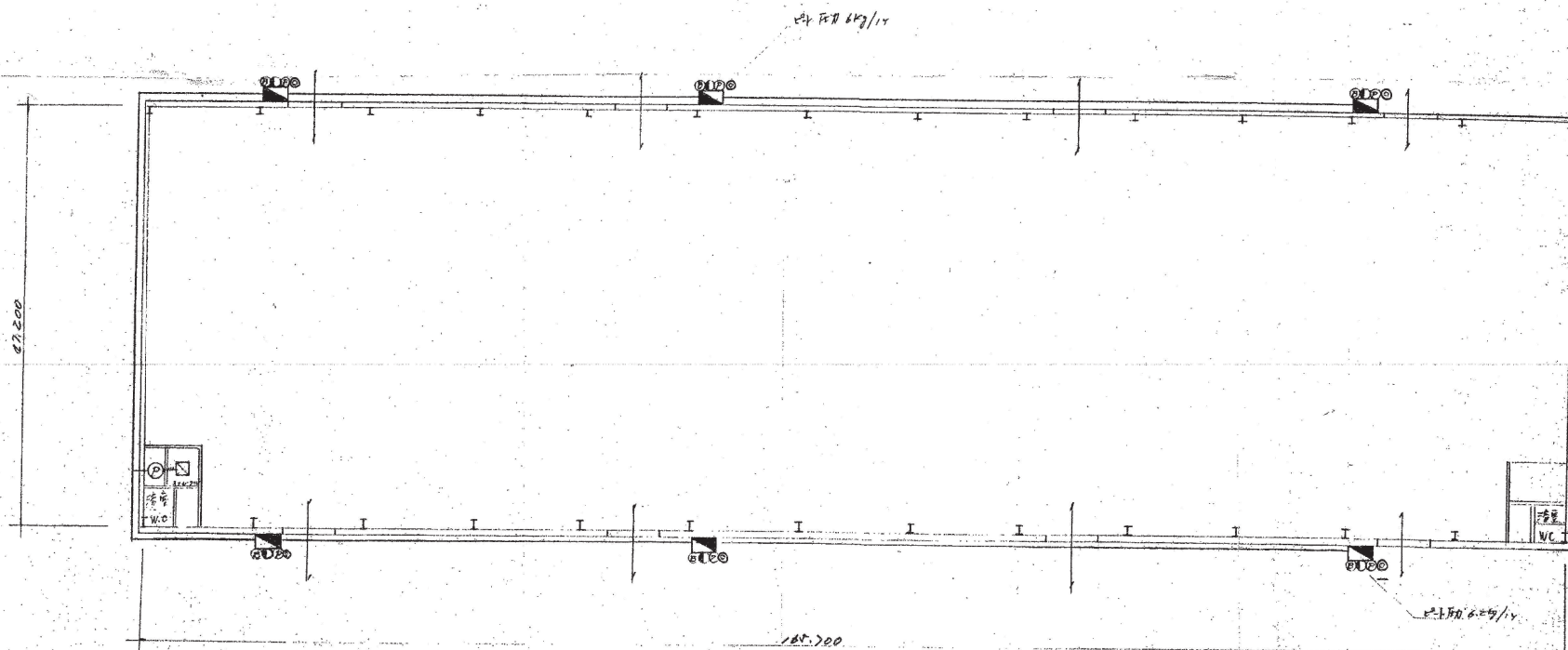
屋外消火栓計算書													
台数	流量 ℓ/min	管径 mm	エルボ90°		チーズ分流		仕切弁		逆止弁		フート弁		消火栓弁
			個数	係数	個数	係数	個数	係数	個数	係数	個数	係数	
1	150	40											1
1	150	50	10	1.6 (16.0)	1	3.2 (3.2)							8.0 (8.0)
2	300	100	5	3.2 (16.0)	1	6.3 (6.3)							
2	300	80	2	2.4 (4.8)			1	0.5 (0.5)	1	6.7 (6.7)	1	6.7 (6.7)	
全 揚 程			31.6m × 1.2 (安全率) = 37.92m < 38m										= 4.785 < 5
揚 水 量			300ℓ/min (2台同時放水)										配管継手損失 5.0 m
水 源			5.2 m ³ 以上 (2.6m ³ ×2台)										ホース損失 3.6 m
動 力			$\frac{0.163 \times 0.3 \times 38}{0.6} \times 1.1 = 3.4067 < 11\text{kW}$										放水圧力 17.0 m
消火ポンプ仕様			80φ × 300ℓ/min × 69.8m × 11kW										実 揚 程 6.0 m
上記計算より既存消火ポンプにて能力を満足する													合 計 31.6 m

消火栓箱リスト				
消火栓番号	棟	階	設置場所	消火栓弁高さ
①	2F上屋	1	北側(海側)	GL+1300
②	2F上屋	1	北側(海側)	GL+1300
③	2F上屋	1	南側(道路側)	GL+1300
④	2F上屋	1	南側(道路側)	GL+1300
⑤	2E上屋	1	北側(海側)	GL+1300
⑥	2E上屋	1	北側(海側)	GL+1300
⑦	2E上屋	1	南側(道路側)	GL+1300
⑧	2E上屋	1	南側(道路側)	GL+1300

記	2E・2F上屋		S: A2: 1/400 A3: A2×11%	D: C.	四 日 市 港 管 理 組 合	27/32
	屋内消火栓設備		D.	N o.		

屋外消火栓箱 (設置個数 6箇所)

ホ-ス 65mm x 20m 2本
 ハンカ 65mm x 25本 1本
 1-2V 65mm x 20m (1分岐) 1本
 消火栓 100mm 65mm 1本



消火栓 200mm x 200mm x 200mm
 消火栓 NFB 125A 電線 91A SUMITOMO GH-EU 1P1A
 2-3- 200mm x 200mm x 200mm D.C.K.
 185mm x 200mm x 200mm V.A.3A.

水槽 地下式 20m³
 消火栓 100mm
 消火栓 100mm
 消火栓 100mm

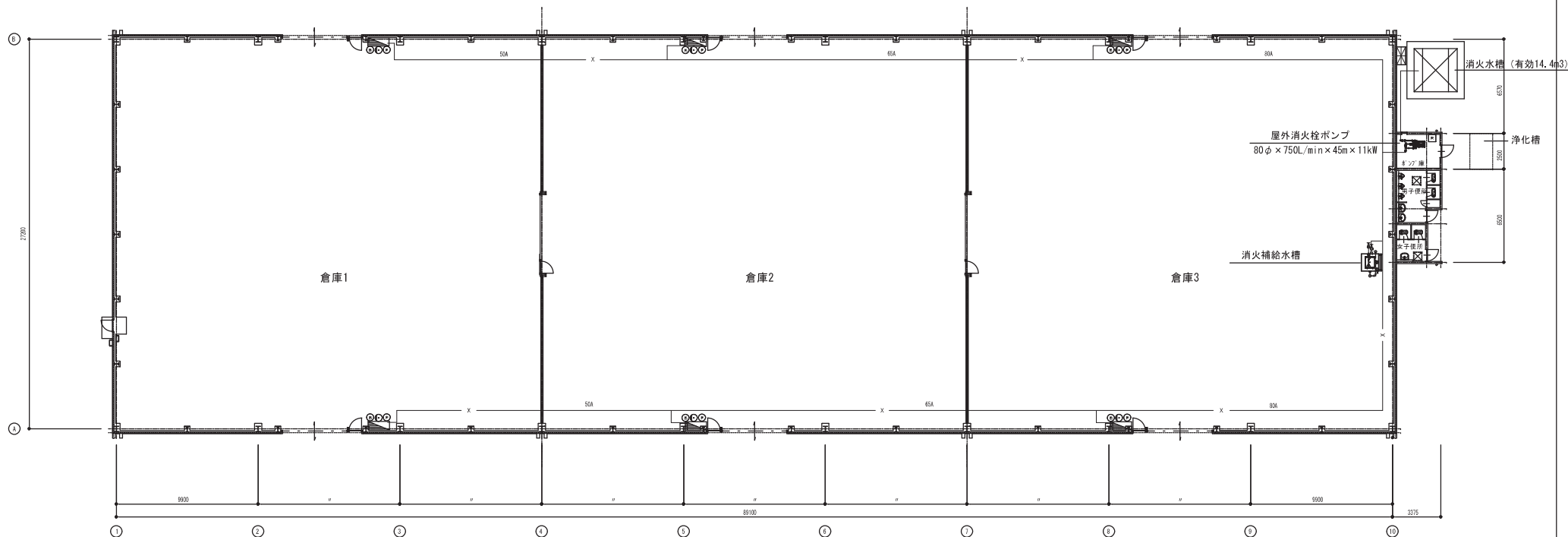
K1 屋外消火栓設備

高3.0m 上屋 K-1棟

工事設計図

屋外消火栓設備

SCALE	DRAWN	DATE	NO
1/400	2010	2.16.04	29/32



平面図

記 事	

四 日 市 港 管 理 組 合

製図年月日				名称		NO.
				第3ふ頭 3D上屋		
所長	検閲	担当	図名			縮尺
			屋外消火栓設備図			
						1/200
						30/32

スプリンクラー設備の構成

- ① スプリンクラーヘッド
- ② 性能試験用配管
- ③ 逃し配管
- ④ 制御弁
- ⑤ 自動警報弁
- ⑥ フロー弁
- ⑦ 圧カスイッチ
- ⑧ 圧カ水槽
- ⑨ ポンプ
- ⑩ 戻水槽
- ⑪ 減水警報用ポートレススイッチ電極棒
- ⑫ 呼水槽
- ⑬ 末端試験弁
- ⑭ 送水口
- ⑮ 信号停止用コック
- ⑯ 圧カスイッチ
- ⑰ 流量計
- ⑱ リターンバルブ

スプリンクラー設備取扱説明

①はスプリンクラーヘッドです。ヘッドは開鎖型で常時は圧カ水槽⑦に連絡があり一定の圧力がかかった水がヘッドまで充滿しています。火災の発生によりヘッドが受熱され約72℃で破壊して散水すると水が流動を以て自動警報弁⑤を通り、この流動的に圧カスイッチ⑬を介して警報装置警報盤に火災発生の場所を表示します。水の散水流出により圧カ水槽⑦の水圧が低下し圧カスイッチ⑥の作動によりポンプが起動します。消火後は、制御弁④を締め切ります。自動警報弁⑤に附属のフロー弁⑥を閉鎖し、圧カスイッチ⑥のリセットボタンを押します。ポンプの停止ボタンを押してポンプを止めます。破壊散水したヘッドを交換後、本来位置にセットするには、自動警報弁⑤に附属のフロー弁⑥を用います。制御弁④を開けず、ポンプが作動し管内へ水が送られると圧カ水槽⑦の圧力計が8.4%～8.6%に上昇し圧カスイッチ⑥のリセットボタンを押します。それからポンプ停止ボタンを押してポンプを止めます。

警報盤表示説明

B棟 C棟 D棟 E棟の棟別に表示致します。ポンプが起動するとポンプ起動が点灯して警報ベルが鳴動致します。呼水槽の水が少なくなると呼水槽減水が点灯して警報ベルが鳴動致します。ポンプ停止は屋外図参照ください。

警報ベルはB.C.D.E棟に各棟に1ヶ所設置されています。

警報ベル棟別に設置

～四層警報装置警報盤へ

